

第1号議案

秋保地区地域交通「ぐるりんあきう」 試験運行Ⅱの実施について



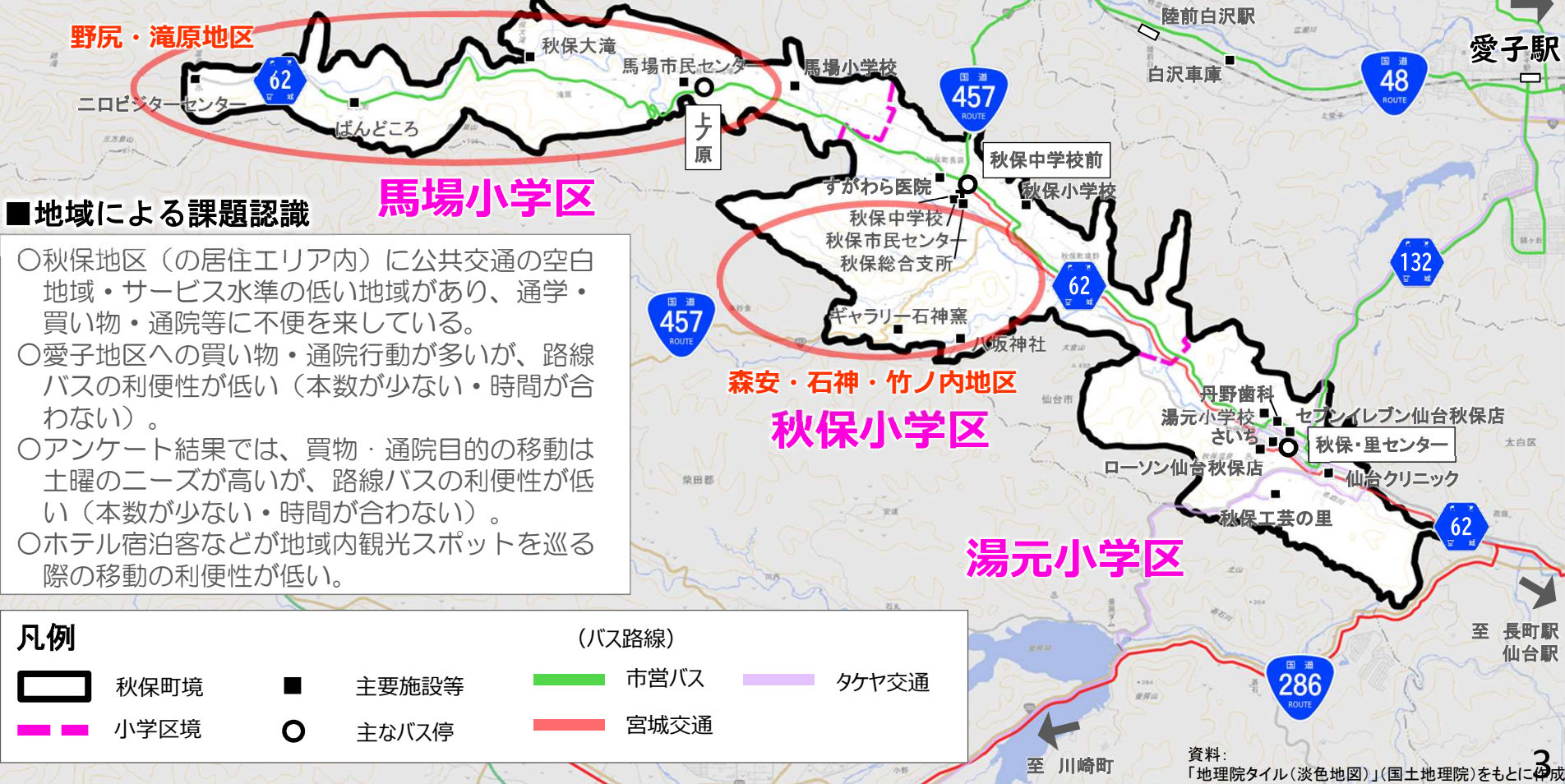
1. 秋保地区における交通課題と地域交通
2. 試験運行Ⅰの結果及び利用状況
3. 秋保地区の交通を考える会の検討経過
4. 試験運行Ⅱの事業計画（案）
5. 今後のスケジュール

1. 秋保地区における交通課題と地域交通

■地区概要

総人口 3,926人
 世帯数 1,913世帯 平均世帯人員数 2.05人
 14歳以下人口割合 8.9%
 65歳以上人口割合 37.8%

出典：岩3年4月1日現在の住民基本台帳人口（仙台市）



■地域による課題認識

- 秋保地区（の居住エリア内）に公共交通の空白地域・サービス水準の低い地域があり、通学・買い物・通院等に不便を来している。
- 愛子地区への買い物・通院行動が多いが、路線バスの利便性が低い（本数が少ない・時間が合わない）。
- アンケート結果では、買物・通院目的の移動は土曜のニーズが高いが、路線バスの利便性が低い（本数が少ない・時間が合わない）。
- ホテル宿泊客などが地域内観光スポットを巡る際の移動の利便性が低い。

凡例

- | | | | |
|------|-------|-------------|-------|
| 秋保町境 | 主要施設等 | (バス路線) 市営バス | タケヤ交通 |
| 小学区境 | 主なバス停 | 宮城交通 | |

資料：「地理院タイル(淡色地図)」(国土地理院)をもとに作成


1. 秋保地区における交通課題と地域交通

■地域交通に関する仙台市の基本的な考え方

○地域交通とは

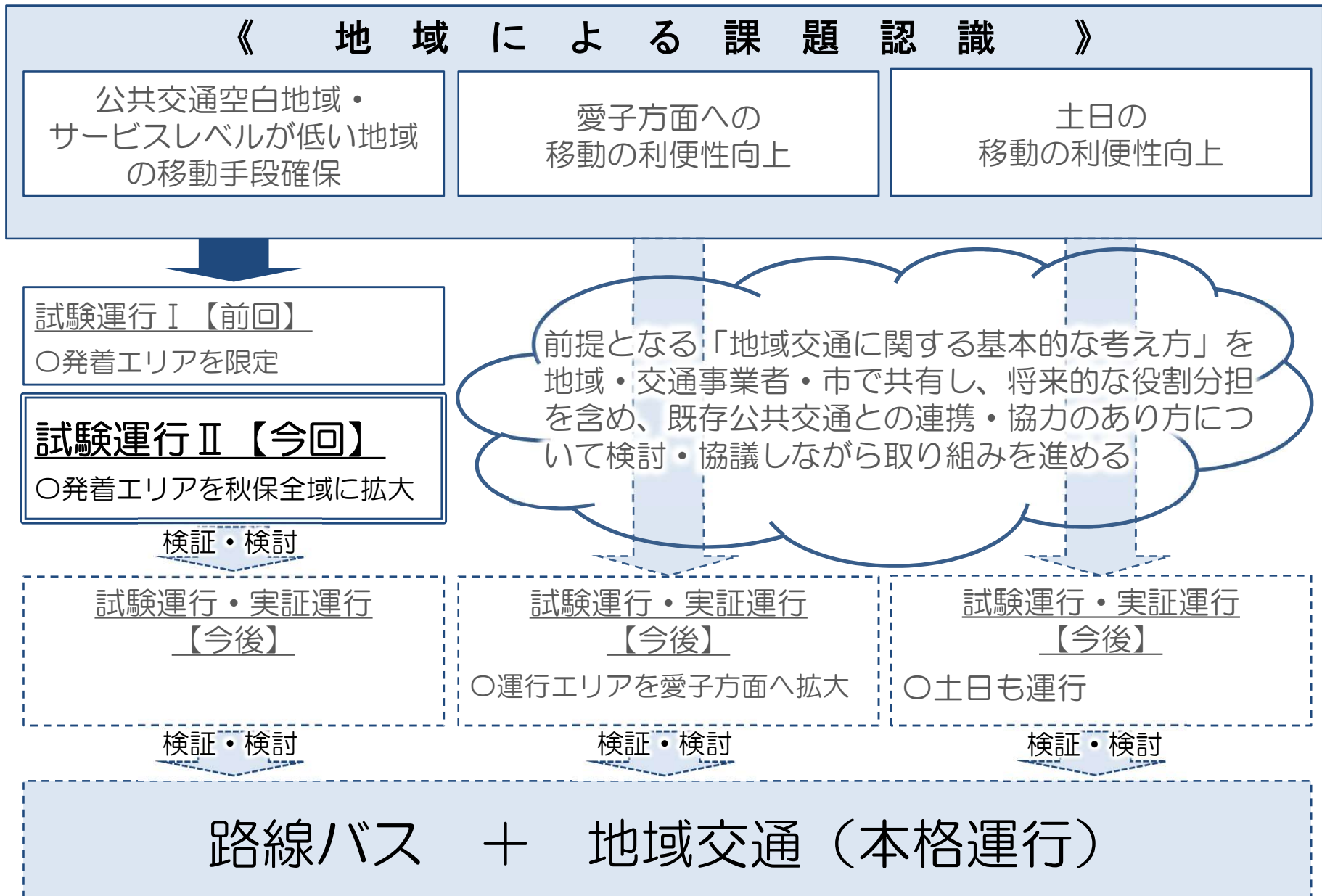
公共交通のサービスレベルの低い地域等において、日常生活に必要不可欠な目的のために運行する、既存の公共交通を補完する交通手段

これを前提として
課題の解決を目指す



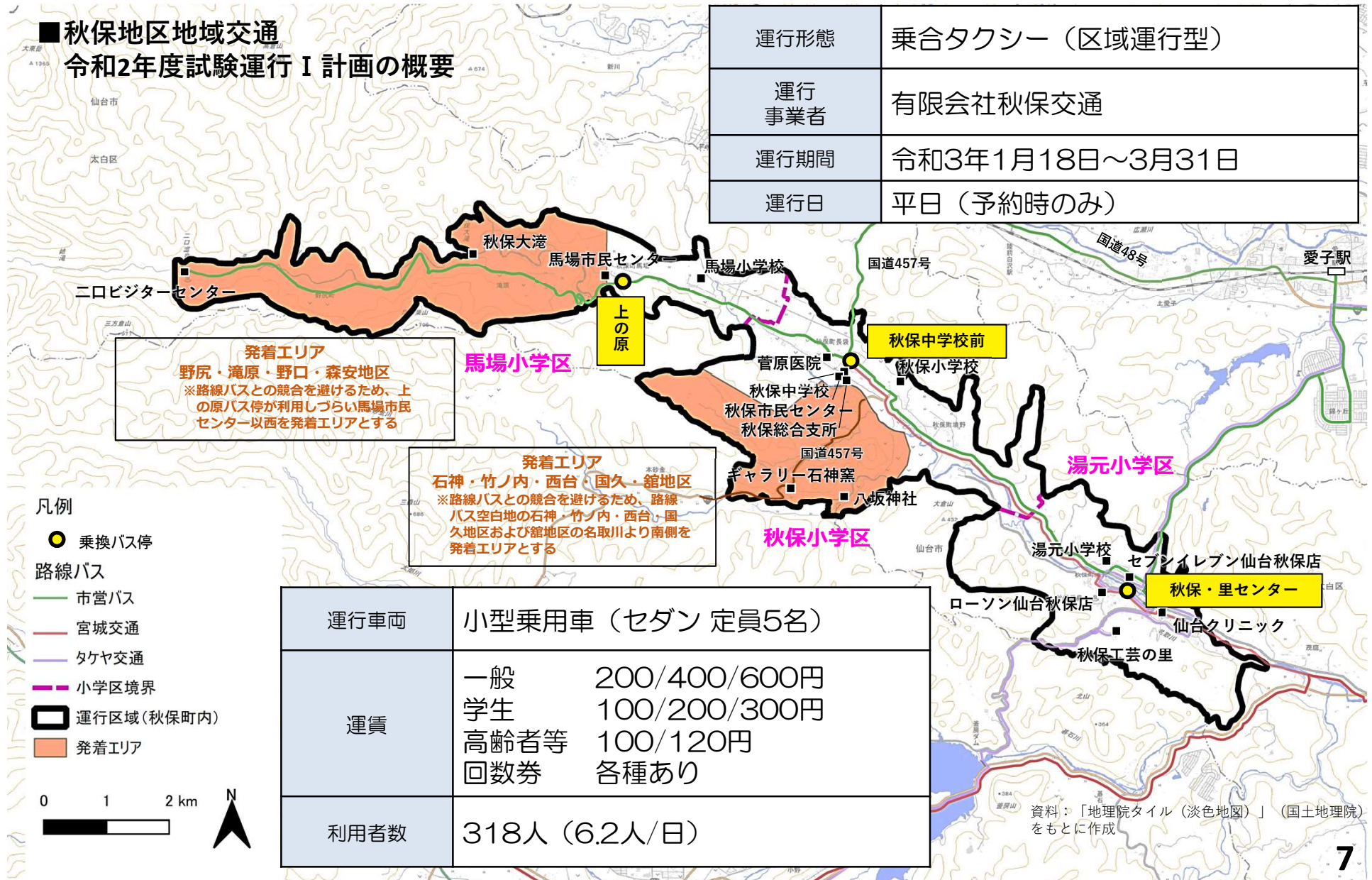
試験運行を重ねながら、将来的な役割分担を含め、既存交通との連携・協力のあり方について検討・協議を行うとともに、収益等持続可能性も見極めつつ、本格運行の運行計画策定に向けての取り組みを進める。

1. 秋保地区における交通課題と地域交通



1. 秋保地区における交通課題と地域交通
- 2. 試験運行Ⅰの結果及び利用状況**
3. 秋保地区の交通を考える会の検討経過
4. 試験運行Ⅱの事業計画（案）
5. 今後のスケジュール

2. 試験運行 I の結果及び利用状況



1. 秋保地区における交通課題と地域交通
2. 試験運行Ⅰの結果及び利用状況
- 3. 秋保地区の交通を考える会の検討経過**
4. 試験運行Ⅱの事業計画（案）
5. 今後のスケジュール

3. 秋保地区の交通を考える会の検討経過

構成団体：秋保町全町内会、秋保地域包括支援センター、秋保温泉旅館組合、みやぎ仙台商工会秋保支部、小中学校、PTAなど

検討会等	日付	内容
第1回	4月14日	・試験運行 I 結果について
第2回	5月19日	・試験運行 I 収支実績について ・発着エリア内住民アンケート結果について
第3回	6月16日	・発着エリア外住民アンケート結果について ・乗降ポイントについて
第4回	6月30日	・事業者との調整状況について ・今後の方向性について
第5回	7月21日	・事業者との調整状況について ・事業計画案策定



検討の様子

1. 秋保地区における交通課題と地域交通
2. 試験運行Ⅰの結果及び利用状況
3. 秋保地区の交通を考える会の検討経過
- 4. 試験運行Ⅱの事業計画（案）**
5. 今後のスケジュール

4. 事業計画 (案) ①

事業の名称	秋保地区地域交通 試験運行Ⅱ事業	
運営主体	名称	秋保地区の交通を考える会
	所在地	宮城県仙台市太白区
	代表者	会長 及川 純一
	説明	秋保地区の交通を考える会は、秋保地区の交通の課題を把握し、地域住民の合意形成を図りつつ地域の足を確保し、安心して暮らしやすい地域と地域の活性化を目指す団体である。 秋保地区内の町内会や関係団体等から選出された委員が定期的に集まり、試験運行の実施や利用促進企画等について検討を行っている。
運行事業者	名称	有限会社秋保交通
	所在地	宮城県仙台市太白区 秋保町湯元字枇杷原11-5-1
	代表者	青野 邦彦

4. 事業計画 (案) ②

事業の概要	運行形態	乗合タクシー(区域運行型)
	運行開始	令和3年10月1日(令和4年3月31日まで)
	事業許可	道路運送法 第21条
	使用車両	特定大型乗用車(ジャンボタクシー 定員10名) 1台(常用車) 小型乗用車(セダン 定員5名) 1台(予備車)
	運行区域	スライドp13 参照
	運行日数	平日 ※土日祝日を除く
	運行時刻	7時~18時で予約に応じて運行
	利用人数	(見込み)1,707人 ※試験運行 I 実績及び令和3年4月に実施したアンケートを基に想定(1日当たり14人程度乗車見込み)
	運賃設定	<ul style="list-style-type: none"> ・一般運賃(現金又は回数券)(学生は半額<学生割引>): 同一小学区内 200円 馬場小学区⇄秋保小学区 400円 秋保小学区⇄湯元小学区 400円 馬場小学区⇄湯元小学区 600円 ・小児・高齢者・障害者等運賃(現金又は回数券): 同一小学区内 100円 馬場小学区⇄秋保小学区 100円 秋保小学区⇄湯元小学区 100円 馬場小学区⇄湯元小学区 100円 <p>※回数券:100円券11枚綴りを1,000円で販売する ※秋保ヴィレッジ、万華鏡美術館は湯元小学区扱いとする</p>
収支計画	スライドp14 参照	

4. 事業計画の概要

■秋保地区地域交通 試験運行Ⅱ計画案の概要

- 凡例
- 乗換バス停
 - 乗換バス停
 - 小学区境界
 - 運行範囲(秋保町内)
 - ★ 乗降ポイント(秋保町外)
 - 市営バス
 - 宮城交通
 - タケヤ交通

1 運行の概要

利用対象	秋保町内全域
運行日	平日（土日祝日を除く） ※試験運行期間 2021/10/1（金）～2022/3/31（木）（123日間）
運行時間	7時～18時で予約に応じて運行
予約	乗車の1時間前までに電話で予約（電話窓口は7時～17時）
コロナ対策	車内の消毒、運転士の健康確認、運転士のマスク着用、乗客のマスク着用お願い

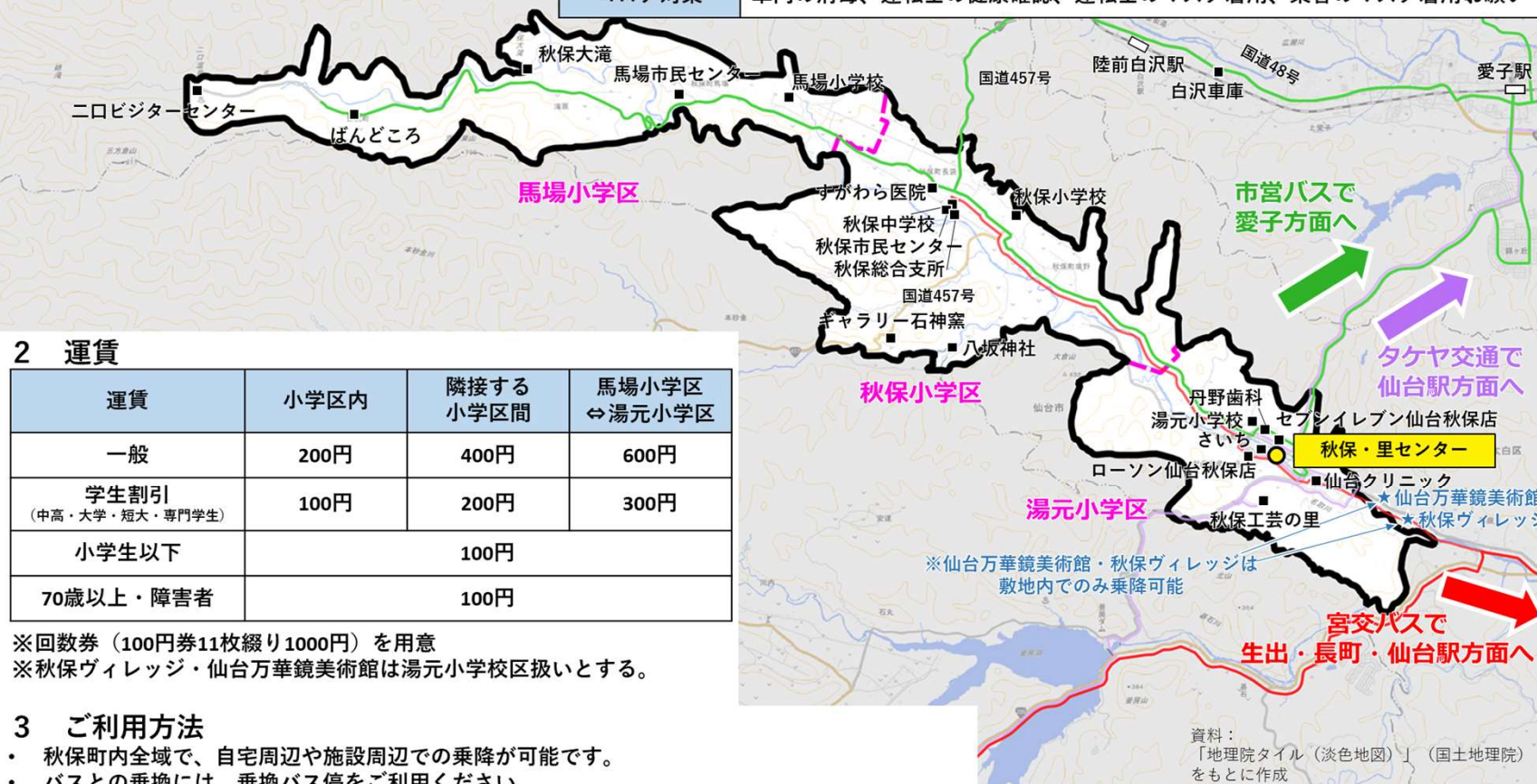
2 運賃

運賃	小学区内	隣接する小学区間	馬場小学区 ⇔湯元小学区
一般	200円	400円	600円
学生割引 (中高・大学・短大・専門学生)	100円	200円	300円
小学生以下	100円		
70歳以上・障害者	100円		

※回数券（100円券11枚綴り1000円）を用意
 ※秋保ヴィレッジ・仙台万華鏡美術館は湯元小学校校区扱いとする。

3 ご利用方法

- ・ 秋保町内全域で、自宅周辺や施設周辺での乗降が可能です。
- ・ バスとの乗換には、乗換バス停をご利用ください。
- ・ 予約受付は7時～17時で、利用されたい時刻の1時間前までにお電話にてご予約ください。
 ご予約はご利用日の1週間前から可能です。



資料：
「地理院タイル（淡色地図）」（国土地理院）
をもとに作成

4. 収支計画書（案）①

1. 収入

令和3年10月1日から令和4年3月31日まで

収入					
項目	運賃	利用人数	合計	備考	
1. 運賃収入	・ 小学校区内の利用（学生割引、高齢者割引） ・ 隣接小学校区間の利用（高齢者割引） ・ 湯元小学校区⇄馬場小学校区間の利用（高齢者割引）	100	1,107	110,700	1日当たりの利用人数：9.0人 ※うち高齢者4.6人 試験運行期間の運行日数：123日 試験運行期間の利用人数：1107人
	・ 小学校区内の利用（一般運賃） ・ 隣接小学校区間の利用（学生割引）	200	319	63,800	1日当たりの利用人数：2.6人 試験運行期間の運行日数：123日 試験運行期間の利用人数：319人
	・ 湯元小学校区⇄馬場小学校区間の利用（学生割引）	300	24	7,200	1日当たりの利用人数：0.2人 試験運行期間の運行日数：123日 試験運行期間の利用人数：24人
	・ 隣接小学校区間の利用（一般運賃）	400	221	88,400	1日当たりの利用人数：1.8人 試験運行期間の運行日数：123日 試験運行期間の利用人数：221人
	・ 湯元小学校区⇄馬場小学校区間の利用（一般運賃）	600	36	21,600	1日当たりの利用人数：0.3人 試験運行期間の運行日数：123日 試験運行期間の利用人数：36人
	元気乗り乗り割引に基づく補助			132,102	200円区間：市補助100円×1.8人/日 400円区間：市補助300円×2.5人/日 600円区間：市補助480円×0.3人/日
2. 協賛金	高齢者600円区間の端数調整分		738	600円区間の高齢者利用(0.3人/日)に対して協賛金から一人当たり20円を補填	
3. 補助金	地域交通乗り乗り事業に基づく運行経費の補助		3,711,335	※運行経費と運賃収入の差額を、仙台市から補助する	
小計（運行経費）			4,135,875	収支率（（運賃収入+協賛金）／運行経費）10.3%	
4. 補助金	地域交通乗り乗り事業に基づくその他経費の補助		300,000	※初期費用は、仙台市から補助する（上限30万円で実費分補助）	
小計（初期費用）			300,000		
合計			¥4,435,875		

4. 収支計画書（案）②

2. 支出

支出					
項目		単価	数量	金額	備考
1. 運行経費	通常便	33,000	123	4,059,000	見積価格（平日）
	追走便	3,075	25	76,875	見積価格（週1回を想定）
小計（運行経費）※税込				4,135,875	
2. 初期費用	ポスター作成費	1,000	100	100,000	B3：片面、100枚(町内会、学校、観光関係等)
	リーフレット作成費	3,000	50	150,000	A3：両面、フルカラー、3000部(町内会、学校、飲食店、観光施設等)
	車両マグネット作成費	12,500	4	50,000	強力マグネット、前後左右4か所
小計(初期費用)				300,000	
合計				¥4,435,875	

4. 協議の経過

時期	内容
7月29日	国土交通省東北運輸局宮城運輸支局 事前協議 支障なし
7月29日	交通管理者(宮城県警察本部交通規制課)事前協議 支障なし
7月30日	株式会社タケヤ交通 事前協議 支障なし
8月3日	道路管理者(仙台市太白区秋保総合支所建設課)事前協議 支障なし
8月3日	宮城県タクシー協会 事前協議 支障なし
8月4日	仙台市交通局 事前協議 支障なし
8月13日	宮城交通株式会社 事前協議 支障あり(消極的賛成の方針)

1. 秋保地区における交通課題と地域交通
2. 試験運行Ⅰの結果及び利用状況
3. 秋保地区の交通を考える会の検討経過
4. 試験運行Ⅱの事業計画（案）
5. 今後のスケジュール

5. 今後のスケジュール

仙台市地域公共交通会議における協議(本日)



地域公共交通会議の会長による
「協議が調っていることの証明書」の交付

運行事業者(有限会社 秋保交通)より
東北運輸局へ許可等申請



秋保地区の交通を考える会にて広報誌を作成
秋保町内の各世帯へ配布
町内会ごとの説明会の実施

試験運行Ⅱ開始(令和3年10月1日)

：

試験運行を重ねながら、将来的な役割分担（例えば、時間帯や運行エリアでの分担など）を含め、既存交通との連携・協力のあり方について検討・協議していく